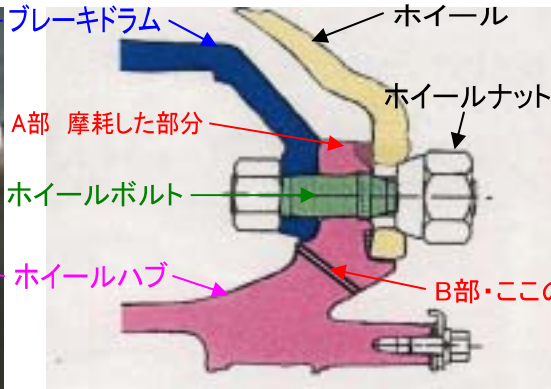
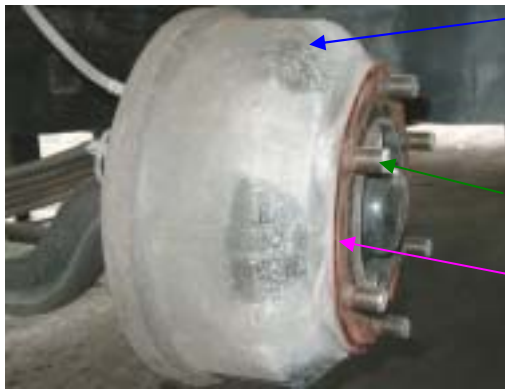


「タイヤは命をのせている」というCMキャッチコピーがあったと思います。これはその通りで車輪回りのメンテナンスを怠りがしると想像を超えた事故が起きます。まだ記憶に新しいとは思いますが、今年の1月10日横浜市瀬谷区の県道を走行中のトラックの**左前輪が脱落し、外れた車輪が歩行者を直撃した死亡事故**です。NHKのニュースなどでも取り上げられ、現在原因が究明され防止の為にマニュアルが(社)日本自動車工業会より弊社にも届いています。2度とこのような悲惨な事故が起きないように、今回は(社)日本自動車工業会が配布しているマニュアルに基づき車輪脱落防止方法をご紹介しますと思います。

車輪脱落防止の話

今回の事象を聞いてまず修理屋である私が思い浮かべた原因は、**ホイールナットの締め付け不足でナットが外れ車輪が脱落した。** **ハブベアリングのグリスが切れスピンドルが破損した。** まずこの二つが思い浮かびました。しかし原因は違いました。ホイールナットの締め付けトルク不足という点では、同じでしたが...

下の写真及び図を見てください。制動方法がブレーキライニング方式の大型車の車輪はこのようになっています。



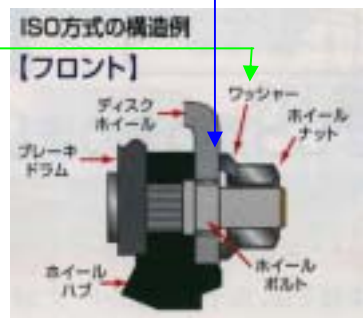
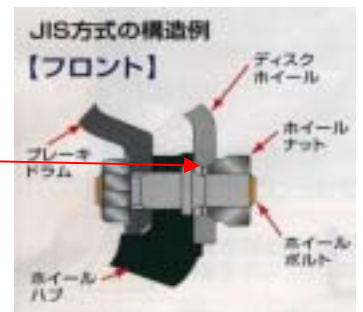
車輪が脱落した原因はホイールナットの締め付けトルクが不足しており図のA部が摩耗しB部に亀裂が入り破損し車輪が脱落した事が判りました。

車輪脱落防止のために

1. ホイールナットの締め付けトルクが不足していない事。又緩みや締め過ぎが無い事。

ホイールナット締め付け時の注意事項

- ・ねじ部の泥・ゴミ、ナットの球面部の塗料は取り除く事。ISO方式ではホイール取付け部ダブルタイヤの合わせ部・ホイールナットの座面の塗料は取り除く事。
- ・ねじ部・ホイールナット球面部には、「油類」を薄く塗布してください。(エンジンオイル・シャングリス等) 二硫化モリブデン入りオイル・グリスを使用すると過大な締め付力になりホイールボルトの破損に繋がるため絶対に使用しない事。ISO方式では、ホイールナットねじ部・ワッシャー部のみに塗布し、ホイール当り面には絶対塗布しない事。締め付力が過大になります。油種及び塗布箇所については各メーカーの取扱い説明書を参照してください。
- ・摩耗、変形、亀裂がある場合は、ホイールボルト・ナットをセットで交換する事。ISO方式のホイールナットはワッシャー部の回転がスムーズでない場合ナットを交換する事。
- ・ナットの締め付けは対角線順に、2~3回に分けて行き最後に正規トルクで締め付ける事。締め付力は各メーカーでいろいろですが、40~60 kgf・mです。取扱い説明書を参照してください。
- ・ダブルタイヤの締め付けはインナーナットを締め付けた後、アウターナットを締め付けてください。
- ・初期なじみにより締め付力が低下する事がありますので、**タイヤ取付け後50~100km走行したら、正規トルクで増締めしてください。**
- ・ISO方式では、タイヤ取付け時にホイールの食いつきや固着を防止する為ホイールハブのはめ合い部分にグリスを塗布する事。



2. スチールホイールとアルミホイールの混用は絶対行わない事。

注意事項

- ・スチールホイールとアルミホイールは各々専用のホイールボルト・ナットを使用してください。
- ・ホイールボルト・ナットを混用すると、長さや形状が異なるため、ねじの底付きや噛み合い不足により締め付力不足がおりホイールボルトの折損やディスクホイールの亀裂に繋がります。

3. 点検は必ず行う事。

- ・車輪が脱落するまでには、**予兆**があります。運行前の始業前点検・日常点検・定期点検は必ず行ってください。**点検時ホイールハブに摩耗・変形がある場合、ホイールのボルト穴回り、飾り穴回りの亀裂・損傷がある場合交換又は修理が必要です。国際サービスに連絡してください。**

少しでも不安や疑問に思った場合、国際サービスシステムに相談してください！ 2度とこのような悲惨な事故が起きないように、国際サービスも微力ながら全力を上げて点検業務を行ってまいりますので、宜しくお願いします。